



キャッシュレス先進国―北欧諸国の動向

国際社会経済研究所 (NECグループ) 主任研究員

大平 公一郎



振り込み義務化については、キャッシュレス化に向けた施策として積極的に検討する価値がある。

オンライン化

給を、現金でなく銀行口座に振り込ませるNemkonto(ネムコント)という制度があり、フィンランドでビスのオンライン化も給与や年金などを銀行口座に振り込むことが企業や政府に義務付けられている。日本でも既に銀行口座の保有率はいずれもEU28カ国平均を上回っており、給与や年金、生活保護などの銀行口座への

トラムのカード対応自動券売機 (ヘルシンキ)



を超えるなど、北欧の人々は現金を使わない資金の移動に慣れている。

縮小している。デンマークでは、過去10年の間に銀行の支店数が半減し、ダンスク銀行や

変化受け入れる

日本では、ATMが身近にあることが当たり前だが、キャッシュレス決済の普及に合わせ、社会が現金取引を受け入れる準備を整える必要がある。その先、キャッシュレス化の取り組みは大いに参考になる。決済手段も、カードかモバイルか、という二者択一ではなく、既に普及している電子マネーを進めていく流れが受け入れやすいのではないだろうか。

日本では、ATMが身近にあることが当たり前だが、キャッシュレス決済の普及に合わせ、社会が現金取引を受け入れる準備を整える必要がある。その先、キャッシュレス化の取り組みは大いに参考になる。決済手段も、カードかモバイルか、という二者択一ではなく、既に普及している電子マネーを進めていく流れが受け入れやすいのではないだろうか。

(PART5おわり)

現金取引インフラ 縮小

北欧でキャッシュレス決済が普及した要因を見ていく。キャッシュレス決済に欠かせないのが銀行口座であり、ルーマニアなど中東欧諸国では銀行口座を持たない人々の比率が30%を超える国もあるが、北欧諸国はほぼ100%の人々が銀行口座を保有する。フィンランドでは、国民は、年金や税金還付などの銀行口座開設の申

口座振込制度

現金の流通を少なくさせる政策もとられて